

グアテマラ共和国

主要データ

国名〔英名〕	グアテマラ共和国〔Republic of Guatemala〕
面積(km ²)	108,889
海岸線延長(km)	400
人口(百万人)	14.1
人口密度(人/km ²)	129.5
GDP(百万US\$)	50,303
一人当りGDP(US\$)	3,330
主要鉱産物：鉱石	金、銀
主要鉱産物：地金	特になし
鉱業管轄官庁	エネルギー鉱山省(Ministerio de Energía y Minas)、鉱山総局(Dirección General de Minería)
鉱業関連政府機関	特になし
鉱業法	鉱業法(Decreto No. 48-97 Ley de Minería) ・予備的調査権 6か月(6か月の延長が可能)、500~3,000km ² ・探鉱権 3年(2回×2年の延長が可能)、100km ² 以下 ・採掘権 25年(25年の延長が可能、20km ² 以下)
ロイヤルティ	鉱業法第61条~第64条 1% (注)2012年2月、法律に基づかない企業とのボランタリーな合意として3~5%に引上げ
外資法	外国投資法(Decreto No. 9-98 Ley de Inversión Extranjera) 外資100%の参入が可能。
環境規制法(環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境保護改善法(Decreto No. 68-86 Ley de Protección y Mejoramiento del Medio Ambiente) 環境影響評価をCONAMA(国家環境委員会)に提出し、その承認を受ける必要がある。
鉱業公社	非鉄金属に関する鉱業公社はない。
鉱業活動中の民間企業	加 Goldcorp、加 Tahoe Resources 等
近年の鉱業関連問題(資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	先住民組織、環境NGOによる鉱山開発反対運動が頻発。 法律の不透明さ(法律に基づかないロイヤルティの引上げ、法律に基づかない探鉱段階での環境影響評価の承認)
2011年のトピックス	・反対運動はあるものの、Marlin 金銀鉱山が生産量を拡大。 ・エネルギー鉱山省が米州人権委員会からの Marlin 鉱山の操業停止の要請を却下(7月)。 ・加 Hudbay 社が Fenix ニッケル・プロジェクトをロシア・Solway Group へ売却(8月)

1. 鉱業一般概況

グアテマラの鉱業は、1920年代以降、クーデターの頻発等、不安定な政治情勢のなか低迷していた。しかしながら、グアテマラは南米から北米に連なる鉱業ポテンシャルの高い地域に位置しており、1996

年に反政府ゲリラ活動が終結した後、本格的に開発が始まった。1996年には鉱業法が制定されたが、先住民組織、環境NGOによる鉱山開発反対運動が頻発しており、2011年現在、Goldcorp社のMarlin金銀鉱山及びCerro Colorado鉄鉱山の2鉱山が唯一操業している(その他、El Sastre金銀山及びClavito IVアンチモン鉱山の2つの鉱山は操業休止中。)

Marlin鉱山は、環境NGO等による反対運動が存在する中、順調に生産を伸ばしてきており、それに伴いグアテマラの金、銀の生産は急速に伸びてきている。同鉱山は、周辺住民から飲料水汚染の訴えがあり、2010年5月に米州人権委員会(IACHR)から操業停止の要請を受けた。2010年7月にグアテマラ政府は同鉱山の環境影響を評価するための行政手続きを開始し、2011年7月、エネルギー鉱山省が環境評価の結果、同鉱山の鉱業権を停止又は取り消すための動機が存在しない旨公表した。それに対し、2011年12月、米州人権委員会はグアテマラ政府に対し同鉱山の周辺の水質保全を要請している。なお、Goldcorp社によると、これまで順調に生産を伸ばしてきた同鉱山の生産量は2011年がピークであり、今後は減少傾向となる見通しである。

かつてはアンチモンの生産もあったが、グアテマラ資本のMinas de Guatemala社保有のIxtahuacánアンチモン鉱山が生産を休止しているため、2008年以降の生産量はゼロとなっている。同鉱山は、中国からの低価格品の影響で採算性が悪くなり、これまでも生産を継続的に休止していた。金属価格の高騰により2007年に生産を再開したが、2008年以降は生産を休止している。

(注)2011年2月時点で、同社の社長は、高齢で後継者もいないため、再開する意向は無いとのことであった。

グアテマラでは、環境NGO団体に扇動された先住民による鉱山開発への反対運動が頻発しているが、先住民との良好な関係構築に努めながら、以下のような5つの開発プロジェクトが進められている他、カナダ企業を主体に多くの探鉱プロジェクトも進められている。

①Fenix フェロニッケル・プロジェクト

本プロジェクトは、グアテマラ東部のIzabal湖周辺に位置している。2011年8月、ロシア・Solway Groupが加Hudbey Minerales社から総額170百万US\$で98.2%権益を購入した。残りの1.8%権益はグアテマラ政府が持っている。Hudbey社は、2008年8月に同プロジェクトの88%権益を加Skye Resources社から434百万US\$で購入しており、本プロジェクトの売却で多額の損失が発生した。

同プロジェクトを売却前のHudbey社は、2008年8月のプロジェクト買収後、2009年にかけて、金属価格の低迷から開発を延期していたが、その後開発を再開し、2010年にはインフラ整備に着手した。また、2009年には鉱山開発反対派による土地の不法占拠も発生したが、2010年に概ね解決している。同社は、2011年2月時点で2014年H1からの生産開始を予定していた。

②Escobal 銀プロジェクト

本プロジェクトは、グアテマラ南東部に位置している。2010年に加Tahoe Resources Inc.がGoldcorpから買収した。プレFSでは、粗鉱処理量3,500t/日、メインライフ18年、生産開始後最初の5年間の年平均銀生産量622tと評価されている。2011年2月に坑道探鉱のための環境影響評価の承認を受け、2011年下期にエネルギー鉱山省からの探鉱許可及び国家環境委員会からの環境影響評価の承認を受けている。2011年11月にTahoe社が発表した開発計画では、2012年上半期に鉱石処理設備が完成し、2013年下半期に操業開始、2014年Q1に商業生産を開始する予定となっている。

③Cerro Blanco 金銀プロジェクト

本プロジェクトは、グアテマラ南東部のエルサルバドル国境近辺に位置し、Goldcorp社が保有する。同社は、2012年半ばまでにFSを実施する予定である。

④Torlon Hill 多金属プロジェクト

本プロジェクトは、グアテマラ西部の Huehuetenango 州に位置している。米 Firestones Ventures Inc. が 2004 年から探鉱を行い、現在、同社が 100%の権益を持っている。同社は、現在プロジェクトの開発資金の調達を行っている。

⑤Mayaniquel ニッケルプロジェクト

本プロジェクトは、グアテマラ東部の Izabal 湖周辺の Fenix ニッケルプロジェクトの近隣に位置している。2009 年 5 月に加 ANFIELD Nickel 社が BHP Billiton から買収し、Sechol プロジェクトから名称変更している。2011 年 7 月に発表したプレ FS によるとマインライフ 29.5 年間の平均年間ニッケル生産量は、19.9 千 t となっている。2014 年操業開始予定となっている。

同プロジェクトでは、2008 年 6 月に環境影響評価の承認を得ないで探鉱を行ったとして罰金を命じられたが、法的に争っている。同社は、2011 年 2 月の JOGMEC メキシコ事務所のインタビューに対し、鉱業法には探鉱段階での環境影響評価の承認は必要とされており、環境天然資源省の規則は法律の根拠が無いものであり無効であると主張していた。

表 1. 開発段階の主要鉱業プロジェクト

プロジェクト名	権益所有企業(保有率)	鉱種	備考
Fenix	ロシア・Solway Group (98.2) グアテマラ政府(1.8)	Ni, (Co)	サブロライト： 精測・概測資源量 6,145 万 t (Ni 1.49%)、 予測資源量 4,301 万 t (Ni 1.26%) リモナイト： 精測・概測資源量 4,653 万 t (Ni 1.11%、Co 0.11%)、 予測資源量 1,470 万 t (Ni 0.08%、Co 0.08%) (注)Ni 0.80%の場合
Escobal	加 Tahoe Resources (100)	Ag, (Au)	概測資源量 15.3t (Ag 500g/t, Au 0.51g/t) 予測資源量 8.3t (Ag 271g/t, Au 0.40g/t) 2014 年初旬の操業開始予定。
Cerro Blanco	加 Goldcorp (100)	Au Ag	概測資源量 252 万 t (Au 15.64g/t, Ag 72.0g/t) 予測資源量 135 万 t (Au 15.31g/t, Ag 59.6g/t)
Torlon Hill	米 Firestone Venture (100)	Zn Pb Ag	酸化鉱： 精測・概測資源量 190 万 t (Zn7.32%、 Pb2.41%、Ag14.25g/t) 硫化鉱： 精測・概測資源量 7.6 万 t (Zn3.23%、Pb2.60%、 Ag12.50g/t)
Mayaniquel	加 ANFIELD Nickel (100)	Ni	サブロライト： 概測資源量 1,210 万 t (Ni 1.57%) 予測資源量 4,960 万 t (Ni 1.37%) リモナイト： 概測資源量 700 万 t (Ni 1.14%) 予測資源量 1,310 万 t (Ni 1.11%) 2014 年操業開始予定

2. 鉱業政策の主な動き

・グアテマラ議会においては、2008 年 8 月以降、鉱業法改正案が審議されている。当事、政府が策定した法案の骨子は、環境保護、監督等の強化、先住民の鉱業ライセンス付与プロセスへの参加、鉱区税及びロイヤルティの見直し等となっていたが、先住民団体、カトリック団体、環境天然資源省等政

府部内からも不満が表明された。その後、野党からロイヤルティを大幅に引き上げる内容の法案、新規鉱業権の付与を制限する法案、露天掘を禁止する法案等が国会に提出されている。

・このような中、2011年11月に当選し、2012年1月に就任したペレス・モリーナ大統領の政権は、国の発展のためには鉱業を発展させることが必要であり、政府が法に基づく規制を厳正に行った上で民間に鉱業権を与えることで、現在のような鉱山開発への反対運動を融和させたいとの意向を表明している。

(注)2012年2月には、法律に基づかない企業とのボランタリーな合意によるロイヤルティの引き上げを実施した。これにより、一律1%であったグアテマラのロイヤルティは、非金属鉱山については3%、金属鉱山については4%、特に Marlin 金銀鉱山については地元自治体への配分1%を加えて5%に引き上げられている。

(注)2012年6月、エネルギー鉱山省は、上記ボランタリーな合意によるロイヤルティの引上げの法制化、鉱業公社の創設、閉山時の環境への対策に関する補償制度の創設等からなる鉱業法改正案を国会に提出する旨表明している。なお、鉱業公社の創設の目的は、鉱山を国営化することでは無く、公社と新規投資企業とがJVを組むことによって、環境NGOの抗議活動等により困難な状況にある鉱山開発を促進することにあるとしている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 2-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)
金(t)	8.6	9.2	11.9	29.3
銀(t)	129.3	194.7	273.1	40.2
鉄(千t)	224	445	未発表	—

(出典：World Metal Statistics Yearbook 2012、Steel Statistical Yearbook 2011)

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

表 2-2. 金属地金生産量

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)
亜鉛(千t)	8.4	10.2	11.2	9.4

(出典：World Metal Statistics Yearbook2012)

(注)その他の金属については、データなし。

(4) 主要金属輸出量

表 2-3. 精鉱・地金等輸出量(マテリアル量)

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)	主な輸出相手国
金(t)	9	5	12	140.0	米国

(出典：Global Trade Atlas)

(5) 主要金属輸入量

表 2-4. 精鉱・地金等輸入量(マテリアル量)

鉱種	2009年	2010年	2011年	対前年増減比(%)	主な輸入相手国
アルミニウム(t)	11	0	0	—	
鉛地金(t)	2	7	4	-42.9	米国
亜鉛地金(t)	26	27	73	170.4	米国

(出典：Global Trade Atlas)

4. 鉱山・製錬所状況

表 3. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業 (権益：%)	鉱種	生産量(t：年)		備考
			2010年	2011年	
Marlin	加 Goldcorp. (100)	金 銀	9.210 194.68	11.894 273.06	
Cerro Colorado	Rodlho Gerna Linares	酸化鉄	非公表	非公表	
El Sastre	Exploraciones Mineras de Centroamérica S.A. (50) Rocas EL Tambol S.A. (50)	金	—	—	2010年2月、Argonaut Gold 社は50%権益を持つ Castle Gold 社を買収、その後地元 資本へ売却、休止中(注)
Ixtahuacán	Minas de Guatemala S.A. (100)	アンチモン	—	—	2008年8月以降、生産を休 止

(出典：各社 Annual Report、各社 HP、鉱山総局)

(注)2010年2月、加 Argonaut Gold 社は、メキシコ Castillo 鉱山の権益 100%と El Sastre 鉱山の権益 50%を持つ加 Castle Gold 社を買収したが、買収目的が Castillo 鉱山の権益獲得にあったため、El Sastre 鉱山の 50%権益を地元資本の Exploraciones Mirera 社に売却した。同鉱山の 2009 年の金の生産量は、0.33t であったが、現在休止中で、操業再開に対し地元住民の反対運動を受けている。

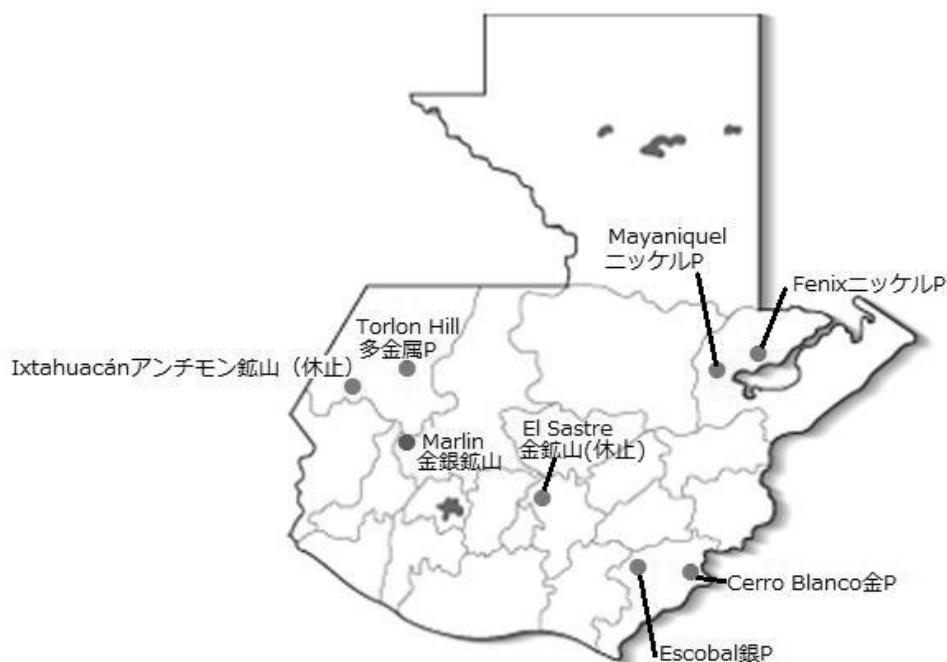


図 1. 主要鉱山、開発プロジェクト位置図 (P：プロジェクト)

5. 探鉱状況

カナダ企業を主体に多くの探鉱プロジェクトが進められている。主な探鉱プロジェクトは表 4 のとおり。

表 4. 主要探鉱プロジェクト

プロジェクト名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	備考
Holly-Bondes	加 Radius Gold(100)	Au, Ag	
El Tembor	米 KCA(51)、 加 Radius Gold(49)	Au	
El Pato	加 Goldex Resources(100)	Au	80~90年代の国連の探査によって発見
La Chorrera	加 Goldex Resources(100)	Pb, Cu, Zn	
Quetzal	加 Firestone Venture	Zn, Pb, Ag	

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

日本への精鉱・地金輸出はない。

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

特になし

(2012. 7. 10 メキシコ事務所 高木博康)